

平成15年度事務事業評価の結果について

府中市では、平成12年度から事務事業評価に取り組んでいます。

今年度は、平成14年度に市が実施した事務事業について、それぞれの目的、経費、成果などを点検、評価しました。

1 事務事業評価の視点

目標達成度、経済・効率性、必要性、代替性、妥当性の5つの視点から評価を行いました。

2 事務事業評価の方法

(1) 第一次評価

第5次府中市総合計画における基本計画の施策の体系の最小単位を事務事業として捉え、78事業を対象として、主管部課長による第一次評価を実施しました。

(2) 第二次評価

総務部及び財務部の職員で構成する府中市行政評価委員会を設置し、主管部課長による第一次評価の内容に疑義のあるものや特に注目すべきものについて、9事業を評価対象として選定するとともに、第二次評価を実施しました。

3 事務事業評価の総合評価

第一次評価及び第二次評価の総合評価は、次の5段階で行いました。

- (1) 拡大して実施すべきである（評点5）
- (2) 現状維持で実施すべきである（評点4）
- (3) 規模、内容などを部分的に見直すべきである（評点3）
- (4) 再構築又は事業の統合など大幅に見直すべきである（評点2）
- (5) 廃止又は休止など抜本的に見直すべきである（評点1）

なお、第一次評価及び第二次評価対象事業並びに各事業の総合評価の評点は、「平成15年度事務事業評価事業一覧」のとおりです。